

生涯学習指導者の研修の現状と課題

— 千葉県の実例 —

— さわやかちば県民プラザにおける実践から —

秋 山 孝

(さわやかちば県民プラザ)

1. 千葉県の生涯学習指導者の研修の実際

生涯学習指導者とは、どのような人物を指すのであろうか。第2次千葉県生涯学習推進計画（平成8年度～12年度）においては、生涯学習指導者のとらえ方について以下のように述べている。

「生涯学習事業に携わる社会教育指導者や学級・講座等の講師，生涯学習関連団体・グループ等のリーダー，生涯学習に関連する様々な行政分野の関係者や学校教育関係者，民間教育事業の担当者等のみならず生涯学習に関心を持つその他の一般社会人までその範囲を拡大して考える必要がある」

この推進計画では、生涯学習推進体制の整備という施策の一環として、「指導者等の養成・確保と活動の支援」を掲げている。

そこで推進計画から、教育庁だけでなく知事部局等も含めた県全体での生涯学習の指導者の研修の機会について、抜粋しまとめたものが次表である。

表 生涯学習指導者等の養成

1 社会職 教員の 関研 係修	社会教育振興のかなめとなる社会教育主事をはじめとした社会教育に携わる職員の資質向上のための体系的な研修を実施する。	・市町村社会教育関係初任職員研修会 ・公民館初任職員実務講座 ・社会教育家庭教育指導員等専門講座 ・社会教育専門講座
-----------------------------	---	---

2 生涯学習ボランティアの育成	青少年から高齢者にいたるあらゆる層の人々が、これまでに蓄積した学習活動の成果を地域社会の中でいかす。	・ボランティア受け入れ施設職員研修 ・高校生ボランティアリーダー養成講座 ・青少年ボランティア養成講座の実施 ・女性リーダーズセミナーの実施 ・青年ボランティア養成事業の実施 ・高齢者リーダーズセミナーの実施
3 さまざまな分野における生涯学習指導者の育成	学校の教職員に対する生涯学習に関する研修を充実するとともに、健康づくり、青少年の健全育成、福祉、まちづくり等の様々な分野において生涯学習指導者の育成をはかる。	(1) 家庭生活と家庭教育の充実 ・家庭教育指導員等を対象とした研修事業の実施 ・母子福祉推進員等を対象とした研修事業の実施 (2) 健康づくり指導者の育成 ・食生活改善推進員等への研修 ・母子保健指導者及び母子保健推進員研修会 ・健康で明るい県民づくり運動推進員への研修 (3) 指導者の養成と活用の推進 ・社会体育研修会の開催 ・スポーツリーダーバンク事業の実施 (4) 安全な県民生活の確保 ・市町村交通安全指導員等を対象とした研修事業の実施 ・麻薬・覚せい剤等乱用防止に関する研修事業の実施 (5) 豊かな消費生活の確立 ・消費生活改善員や消費生活指導員、市町村消費生活相談員を対象とした研修事業の実施 (6) より良い環境の創造と保全 ・エコマインド養成講座の実施 ・自然観察指導員等の育成 ・「リサイクルリーダー」の育成

		(7) 社会生活・職業生活の充実 ・職業能力開発推進者を対象とした講習会の実施 (8) 次代を担う青少年の健全育成 ・青少年相談員を対象とした研修事業の実施 ・PTA指導者研究会の開催 (9) 心豊かな福祉社会の実現 ・ボランティアの育成 ・社会福祉研修事業の実施 (10) 情報化の推進 ・視聴覚教育指導者研修の実施 (11) 産業の活性化 ・農業教育施設職員研修の実施 (12) 学校教育の充実 ・教職員に対する研修の充実
4 千葉県生涯学習推進センター実施事業	県民の学習活動を支援するため、多様な学習活動について指導・助言を行う生涯学習の指導者等の養成や確保を図る。	・グループ・団体リーダー等を対象とした研修・講座の実施 ・ボランティアコーディネーター育成のための研修・講座の実施 ・行政職員等を対象とした研修・講座の実施 ・教員等を対象とした研修・講座の実施

(注) 計画策定後2年を経過し、現状と計画とでは必ずしも一致しないものもある。
例えば、上記の「1 社会教育関係職員の研修」と「4 千葉県生涯学習推進センター実施事業」に関しては、実際には、さわやかちば県民プラザにて実施している。

2. さわやかちば県民プラザにおける生涯学習指導者のための研修

以上のように、県では生涯学習指導者に対する研修の場面は多方面にわたっているが、このような全県的な学習機会情報の提供、県民の学習活動の評価など、県民の生涯学習を支援するための施設として、さわやかちば県民プラザが、本県柏市柏の葉公園隣接地に、平成8年11月にオープンした。

(1) さわやかちば県民プラザの果たす役割

さわやかちば県民プラザのもつ機能は以下の通りである。

①生涯学習センター機能

生涯学習の促進を図るため、生涯学習に関する情報の提供・相談、調査・研究、指導者等の養成・研修、講座などのさまざまな学習機会の提供を行う。

②女性センター機能

女性の社会参画を促進するため女性に関する情報提供・相談・学習機会の提供を行う。

③芸術文化センター機能

県民の参加型芸術文化活動の推進を図るため各種創作活動の実習・発表の場の提供を行う。

④環境学習の機能

人と環境のかかわりについて学ぶ環境学習を推進する環境学習コーナーを備えている。

生涯学習センターと芸術文化センターは、県教育委員会の所管であり、女性センターと、環境学習コーナーはそれぞれ知事部局の社会部・環境部の所管である。このようにさわやかちば県民プラザは、教育委員会と知事部局との複合施設となっている。

(2) さわやかちば県民プラザにおける生涯学習指導者の研修の実際

さわやかちば県民プラザは、生涯学習推進の中核的施設として県全体の生

生涯学習を振興していく視点に立ち、生涯学習の指導者の養成・確保の役割を担い、研修事業を実施している。

この生涯学習指導者研修事業は、従来の千葉県総合教育センター生涯教育部における事業と教育庁社会教育課成人教育係所管の事業を継承するとともに、さらに充実・発展させたものである。平成9年4月から本格的に稼働し、現在2年目を迎えるところである。

平成9年度の研修事業は、県民プラザとして初めてのものであり、手探り状態で進んでいった1年だったという感もある。以下、平成9年度の事業の概要について述べる。

なお県民プラザでは、生涯学習指導者対象で特定分野の専門的知識や技術を身につけるためのインストラクター的講座（例：パソコン講座、ビデオ編集講座、陶芸教室など）も数多く実施しているが、それについては、ここでは取り上げていない。

①研修の対象と内容について

県民プラザでの研修事業は、大きく「行政関係職員」「教職員」「県民指導者（グループ・団体のリーダー）」の3つの対象に分けている。それぞれの研修の趣旨は以下のようになっている。

ア 行政関係職員

県民の学習要求に応え、主体的な学習活動を支援し促進するため、また適切な学習機会を提供するため、県および市町村の生涯学習関係行政職員の、企画・調整・相談等の支援能力を高める研修を実施している。

イ 教職員

学校が生涯学習の基礎を培う場として重要であるという認識を深めるとともに、職員自らが生涯学習に取り組むことにより、自己の充実・向上に結びつき学校教育にも好ましい影響を与えることができるという観点から幼稚園、小・中・高等学校、盲・聾・養護学校、私立学校の職員の研修を実施している。

ウ 県民指導者（グループ・団体等のリーダー）

県民の学習者が、主体的に生涯学習団体等のリーダーはもとより、生涯学習のあらゆる場面でコーディネーター、ファシリテーター、ボランティアとして活躍する場面も増えていることから、団体の運営、企画・調整、助言等

の専門的な能力と資質向上のための研修を実施している。

なおこの対象は、グループ・団体のリーダー等で市町村の推薦のあった者および一般の希望者であり、いわゆるカルチャーセンター・塾の指導者対象のものではない。

②研修体系

上記で示した3つの対象別にそれぞれ適切な研修内容を考え、経験年数、現在置かれている立場などに応じた研修体系を考えることが必要である。

そこで、県民プラザでは、下記のように3つの段階に分け研修を実施している。

ア 入門段階

初任者、未受講者を対象に生涯学習について基本的な知識の理解を深め、実践するための基本的な理論と技能を習得する。

イ 基礎段階

生涯学習を推進する知識・技能の習得とともに、学習プログラムの作成、学習者と学習資源をコーディネートする能力の向上を図る。

ウ 専門段階

生涯学習を推進する指導者としての専門的知識の習得と、コーディネート能力の向上を図る。

③平成9年度研修事業一覧

平成9年度さわやかちば県民プラザ研修課で実施した生涯学習の指導者に関する研修は以下の通りである。

ア 行政職員対象

No.	段階	講座名称	定員 受講者数	日時 数 間	内 容
1	入門	生涯学習関係初任職員研修講座	50 33	5 20	生涯学習の意義と役割、事業計画実施手順等の実務に関する知識・技術についての研修を行う。
2	入門	公民館初任職員研修講座	50 51	4 16	生涯学習時代に対応した公民館の事業運営のあり方についての研修を行う。

3	基礎	生涯学習まちづくり講座	50 13	5 20	生涯学習まちづくりに関する理論・施策について研修し、生涯学習の認識を高め、関係職員の資質の向上を図る。
4	基礎	ボランティア活動基礎講座	50 10	3 12	行政職員対象にボランティア活動推進に関する基本的な知識・技術について研修し理解を図る。
5	専門	生涯学習リーダーズセミナー	30 17	5 20	県・市町村における生涯学習関係職員の指導力の向上に資するため、現代的課題をはじめとする生涯学習に関する専門的知識の修得を図る。
6	基礎	社会教育・家庭教育指導員等研修講座	50 21	5 20	社会教育指導員および家庭教育指導員等の役割と職務について認識を深め、指導技術の向上を図る。
7	入門	生涯学習情報提供システム研修講座	30 14	4 16	県民プラザの情報システム機能利用し、生涯学習に関する情報等の研修を実施する。
8	基礎	生涯学習相談基礎講座	50 8	4 16	生涯学習相談の意義や必要性、学習相談に関する基礎知識、相談員に求められている能力、学習相談の手順等についての研修を行う。

イ 教職員対象

№	段階	講座名称	定員 受講者数	日時 数 間	内 容
1	入門	ニューライフセミナー	80 39	5 20	現代的課題をふまえた生涯学習の情報にふれ、自己の生き方と学校の教育活動を新たな視点から見つめ直す。
2	入門	生涯学習入門講座	50 29	5 20	生涯学習の基礎的な知識や取り組みについて理解し、教職員としての資質の向上を図る。

3	基礎	ボランティア活動推進講座	50 26	5 20	教職員の自発的なボランティア活動の促進を図るための基本的な知識・技術に関する研修を行う。
4	入門	情報機器活用入門講座	20 27	3 12	情報機器を主体的に選択し、活用するとともに、情報を積極的に発信できる基礎的な能力を育成するための研修を行う。

ウ 県民指導者対象

No.	段階	講座名称	定員 受講者数	日時 数 間	内 容
1	基礎	生涯学習コーディネーター講座	30 21	5 20	生涯学習を推進するために、コーディネーターとしての基礎的理論、必要な知識・技術について研修を行う。
2	入門	女性リーダーズセミナー	40 43	5 20	女性を取り巻く社会情勢の大きな変化の中で、地域に貢献する女性リーダーの育成を図る。
3	入門	高齢者リーダーズセミナー	40 40	5 20	高齢者のリーダーとして必要な知識・技能について研修する。
4	入門	施設ボランティア養成講座	30 23	9 18	社会参加を社会教育施設にて行いたい人に対し、施設ボランティアに求められる知識や技術について研修する。

また、県民のスポーツレクリエーション関係指導者のための事業として、明るい県民づくり推進員対象に健康づくり教室、レクリエーション協会員・体育指導員対象の講座としてスポーツリーダー教室を実施している。

No.	分 類	講 座 名	定 員 受講者数	日 時 数 間	内 容
1	健康づくり 教 室	ストレス解 消 法	30 20	6 12	ストレスマネジメント、呼 吸法を通して、ストレス解 消を考える。
2		成人病予防 教 室	30 32	6 12	医学、スポーツ、栄養学の 観点から、成人病の予防法 を学ぶ。
3	スポーツリー ダ ー 教 室	ス ポー ツ レ ク リ エー シ ョ ン リーダ ー 教 室	40 30	2 6	スポーツレクリエーション のあり方について考え、ニュー スポーツを体験する。
4		生 涯 ス ポー ツ リーダ ー 教 室	40 31	2 6	スポーツによるまちづくり について考え、ニュースポー ツを体験する。

④平成9年度研修事業の課題

ア 行政職員の研修

行政職員対象の講座の場合、職務内容、年齢層の幅の広さ・経験年数の違いから、受講者によっては、講座の内容に期待するものと異なってしまった場合もあり、講座を企画運営上の難しさを感じた。

学習相談講座は、応募者が少なかった。市町村によっては、学習相談の取り組みが十分といえないところがあると考えられる。

受講者のアンケートによれば、学習プログラムの講座の要望が多かった。そこで、今後、ボランティアやまちづくり、また現代的課題のそれぞれの視点から、学習プログラム作りと関連させる講座を企画する必要があると考える。

イ 教職員の研修

アンケートによると、教職員は学校教育以外の分野の内容に関するものや自分自身の啓発に役立つものに関する内容に対する興味・関心が強かった。

逆に学校教育の立場から生涯学習を推進する内容の講座に関しては、さほど関心は高くなかった。

学校において生涯学習に関する一層の理解を図るため、一般教員対象の研修と同時に指導層の職員に対する研修も今後考えていく予定である。

ウ 県民の指導者対象の講座

グループ・団体の運営、情報発信の方法、リーダーの心構えなどといった内容の研修を実施したが、さまざまな立場の受講者がおり、評価もさまざまであった。

なお、以下に県民の指導者対象の講座の事例として「女性リーダーズセミナー」を紹介する。

⑤県民指導者対象「女性リーダーズセミナー」の事例から

ア 講座の趣旨

近年、情報化、高齢化、国際化等の進展、就業構造の変化などにより女性の生き方も多様化してきてる。こうした中で、男女がともに地域社会に参画し、より豊かな地域社会をつくるため、地域で活躍する女性たちへの期待がますます大きくなってる。このような状況に対応するために、地域に貢献する女性リーダーの育成を目的として開催したものである。

イ 参加対象者

参加対象者は以下のいずれかに該当する人であり、定員は50名である。

- ・各種婦人団体、グループ、サークル等のリーダーおよび将来リーダーとして活躍したい方。
- ・「婦人学級」等のリーダー。
- ・市町村の婦人教育担当者、婦人会館職員、公民館職員等。
- ・婦人教育、女性問題、ボランティア活動に関心のある方。

実際に参加した方は、市町村からの推薦者26名（行政職員4名、婦人会等女性団体関係者16名、子ども会等の団体関係者6名）と一般応募者26名（こちらは、地域で活動しているグループに所属する者12名、関心のある者14名）であった。

ウ 学習プログラム

月日	時間	テーマ	内容	方法	講師等
10/7 火	10:00 ～ 10:20 ～ 11:00	開講式 千葉県女性の 施策の概要	男女平等参画型社会の実現に向けた千葉県における事業施策を紹介する。	講義	女性センター職員
	11:00 ～ 12:00	仲間づくり	自己紹介、仲間作りを行う。	ワークショップ	プラザ職員
	13:00 ～ 15:00	ともに生きる社会を 一よりよい人間関係づくりをめざして	自分自身が社会で輝いて生きるために重要となる周囲の人々とのよりよい人間関係づくりの方法を知る。	講演	エッセイスト
10/15 水	10:00 ～ 5:00	社会参画を支援する ための学習プログラム	女性の社会参画を支援するための様々な学習プログラムの立て方などについて研修する。	演習	女性会館職員
10/21 火	10:00 ～ 15:00	再発見・私自身	知っているようで知らない自分自身を見つめ直し自分らしく生きるための気づきを得るためのワークショップを行う。	ワークショップ	カウンセラー
10/29 水	10:00 ～ 15:00	ネットワーキング と情報発信の方法	女性団体のネットワーク作りの必要性を理解し、その手法を学ぶとともにミニコミ等を使った情報発信の方法について事例をもとに学ぶ。	事例発表 演習 シンジウム	書籍編集者 ミニコミ 発行者
10/30 木	10:00 ～ 12:00	生涯学習と ボランティア	ボランティアコーディネーターとしての活動、ボランティア実践者の活動から生涯学習のあり方を考える。	事例発表	ボランティア 2名
	13:00 ～ 15:00	参加者交流会	参加者それぞれの活動を発表し、情報交換の場とする。	発表	

エ 学習方法について

学習方法については、講義一辺倒にならないよう、講演・ワークショップ・演習・事例発表・シンポジウム・参加者の交流会など多様な方法を取り入れたことにより、受講者の間でも好評であった。今後一層、ワークショップなど参加者の主体性を促す学習方法の開発が必要であると考ええる。

オ 受講者の対象について

従来は、婦人会等の指導者で市町村の推薦者のみを対象にした講座であったが、一定の成果が上がったため、昨年度から一般希望者の応募も受け付け、幅広い層の受講者を受け入れるようにした。

アンケートに「市町村の推薦で来た人と、一般応募の人の取り組み方かなり温度差があった」というものがあった。実際、「近頃の若いものは礼儀を知らない」と怒りの電話をかけてきた婦人会の会長がいた。演習中、20代の一般応募の若い方に対等な口をきかれたのが我慢ならないという。

従来、この研修の対象は、団体・グループのリーダーということで、ピラミッドの組織のトップの部分の人々が対象になっていた。

これらの人々は、年齢層も比較的高い人々であり、長年の経験と実績を積んでいる。しかし、往々にして昔ながらの上意下達式のシステムに陥りやすい側面もある。

これからのリーダーは、人々の学習活動を下支えするような能力が必要になってくると考えている。となると指導者というよりも支援者という意味合いが強くなってくる。

また「このことに関しては、この人がリーダーだが、あちらのことに關してはこの人がリーダー」というように、現在の多様化している生涯学習の機会の中で、リーダーを一人の人物に固定化することはできない。学習者すべてがそれこそ「いつでも、どこでも、だれでも」リーダーとなりうる状況になっていると考えられる。

これからは、リーダー・指導者の研修と銘打ったとしても、従来のように組織のトップの人々だけを対象にした研修以上に、広く自らの意思で受講しようとする人々の研修も大切にすべきであろう。

オ 講座終了後の支援

講座終了後、受講者の有志が自主学習グループを作り、月1、2回程度県

民プラザに集まり、学習会を継続している。市町村の公民館では、講座終了後のサークルの結成という事例が多いが、県レベルでも研修事業終了後の学習サークルの結成は、各地域の指導者層の交流という意味でも非常に重要であり、今後さらに育成・支援の方策を考えていきたいと思う。

3. 課題と今後の方策

(1) 研修担当者の力量の向上

当施設の職員はみな一般行政職員であり、特に専門職（社会教育主事）としては発令されていない。実際に講座を企画・運営する職員についてみても、前年度まで教職員だった者、一般行政の他の部署に携わっていた者もあり、また在籍期間わずか1年という場合もあり、必ずしも社会教育に造詣が深い者の集団というわけでもない。

研修の企画運営をする者は、常に生涯学習に関する新しい情報をキャッチするとともに、自らのファシリテーター・コーディネーターとしての力量も磨かなくてはならないと考える。

そこで、講座を企画・運営する職員自身の研修（国立教育会館社会教育研修所・民間の研修機関・OJT・自己研修）の必要性を強く感じている。

(2) 研修プログラムの工夫

言うまでもないことであるが、研修の開催時期、受講対象の明確化、講義一辺倒にならない講座の企画などに留意し、魅力ある研修を実施することが必要である。そのためには、しっかりとした評価もしておきたい。

(3) 他部局との連携について

さわやかちば県民プラザは、知事部局の社会部の女性センター、環境部の環境学習コーナーとの複合施設であり、それぞれのセクションで、さまざまな研修や講座を企画運営している。そこで研修プログラムの作成の際には、講師の紹介・情報交換や、研修内容についてのアドバイスなどが相互に受けやすく、非常に役立っている。今後は他部局の機関・施設との連携をより一

層、積極的に図っていきたい。

(4) 市町村との連携について

県内市町村のさまざまな教育施設、特色ある事例などの情報を収集し、講座の企画に役立てている。また県民プラザにおける研修によって、県内市町村の職員の交流の場面がみられ、情報交換のための貴重な場となっている。今後、例えばインターネットのメーリングリストなどによる県・市町村の生涯学習関係職員のネットワーキングの方策についても検討していききたいところである。

(5) 民間団体との連携について

個々のプログラムの中では、民間から専門的な知識・技術を持つ講師を招いて講座を企画している。今後生涯学習関連の NGO はもとより、NPO の活動とも一層の連携をすすめていく必要がある。

(6) 国の研修施設（国立教育会館社会教育研修所）との講座との関連

当施設は、県北部の柏市のはずれにあり、県南部からの受講者は地理的に参加しにくい場所にある。上野にある国立教育会館社会教育研修所に出かける方が近いという地域も多い。

国の中央研修と同様な内容の研修もあるので講座内容などよく吟味し、県独自の講座、プラザの機能を活かした魅力ある講座を考える必要があろう。

また、県内各地域の指導者育成のためにいわゆる出張講座も考えていく必要があろう。

(7) 研修受講者の活用場の設定について

県民対象の講座については、現在、地域の指導者・リーダー等として活躍している人以外にも、ボランティア活動や生涯学習に興味や関心があるというような受講者もいる。県民プラザとしては、今後このような人々の活用の方策、活動の場の情報の提供について検討していきたい。

さらに、当施設で活動するためのボランティア受け入れのための研修についても検討中である。

4. おわりに

生涯学習に関する指導者を表現する言葉として、思いっただけで、リーダー、コーディネーター、ファシリテーター、プランナー、ボランティア、アニメーター、デザイナー、アドバイザー、インストラクターなどこれでもかと新しい横文字の言葉が増えてきている。これは、これからの時代、生涯学習に関する指導者のニーズが世の中で多く求められている証拠でもあろう。

さわやかちば県民プラザでも、このような世間の情勢を踏まえ、指導者の研修により一層の力を注いでいきたい。

今年度はオープンから3年目の年度に入り、各事業もようやく、軌道に乗りつつある。研修事業に関しても、昨年度の反省を活かしながら、来年度の企画立案を進めていこうとしているところである。

以下に本年度の研修事業で新規に行う事業について紹介し、本稿を閉じたい。

1. 行政関係職員対象

講座名 生涯学習プログラム開発講座

趣 旨 生涯学習プログラムの開発に関する理論や実際について研修し、ボランティア養成・まちづくり等の課題を踏まえたプログラムを作成する力を身につける。

2. 教職員対象 (校長・教頭・教務主任・学年主任対象)

講座名 生涯学習推進講座

趣 旨 生涯学習社会における学校の役割を学習ボランティアの活用、地域との連携、男女共同参画社会とPTA活動の観点から考察し、開かれた学校づくりに資する。

3. 県民指導者(グループ・団体リーダー)対象

講座名 まちづくりボランティア養成講座

趣 旨 生涯学習の観点から地域の活性化を促進するため、生涯学

習まちづくりに関わる専門的知識について研修し，市町村の自治会などにおいて生涯学習やボランティア活動を広める人材の育成をめざす。